

## <緩和ケア部会：活動報告および今年度事業計画>

### 活動報告

1. 下記の 10 の目的を制定した  
緩和ケア研修会の企画、実施を行う  
ホスピス病棟を持つ病院との連携を行う  
緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟普及を図る  
がん診療を行っているすべての病院に緩和ケアチームを作る  
在宅医療との提携する  
緩和ケア外来の普及を行う  
緩和ケア専門医を育てる  
拠点病院緩和ケアチームと在宅医療を行う診療所（開業医）との合同カンファランスの定期開催する  
2 次医療圏（地域）ごとに緩和ケア協議会を設置する  
地域住民ボランティアを育成する
2. 第 1 回沖縄県緩和ケア研修会 2008 を行った  
(厚労省健康局長通知「緩和ケア研修会の開催指針について」に基づく)  
日程：平成 20 年 10 月 25（土）・26 日（日）  
主催：琉球大学医学部附属病院  
場所：琉球大学医学部がじゅまる会館  
主催責任者：須加原 一博（同病院長）  
企画責任者：笹良 剛史（友愛会南部病院緩和医療科部長）  
比嘉 達也（琉球大学医学部附属病院麻酔科助教）  
協力者：31 名（講師 6 名、ファシリテーター 25 名）  
受講予定者：38 名  
受講修了者：27 名

### 今年度事業計画

1. 今年度中に緩和ケア研修会を 4 回開催する（沖縄県内の主要緩和ケアチームのチーフ及びホスピス病棟を持つ病院の医師が全員参加し、沖縄県として同一プログラムで、どの病院が主催しても質を落とさないように行う。）<下記参照>
2. 沖縄県医師会、各地区医師会の協力を頂き、在宅医療を行う診療所（開業医）医師の積極的な参加を呼び掛ける

3. 本年度も含め4年以内に宮古医療圏内（宮古島市）及び八重山医療圏内（石垣市）でそれぞれ1回ずつ研修会を行う

今年度事業計画＜緩和ケア研修会実施予定＞

第2回 日程：平成20年12月20日（土）21日（日）

主催：那覇市立病院

場所：那覇市立病院3階講堂

主催責任者：與儀 實津夫（同病院理事長）

企画者：笹良 剛史（友愛会南部病院緩和医療科）

第3回 日程：平成21年1月31日（土）・2月1日（日）

主催：県立中部病院

場所：県立中部病院2階会議室

主催責任者：平安山 英盛（同病院長）

企画者責任者：上田真（沖縄県立中部病院外科副部長）

第4回 日程：平成21年3月7日（土）・8日（日）

主催：北部地区医師会病院

場所：未定

主催責任者：諸喜田 林（同病院長）

企画者：未定

第2回沖縄県がん診療連携協議会 提案事項1 <緩和ケア部会>

事業名	『緩和ケア病棟における総ベッド数規制外取り扱いについて』	
提案者名	沖縄県がん診療連携協議会 緩和ケア部会	
連絡先	琉球大学医学部附属病院がんセンター T E L : 098-895-1369 F A X : 098-895-1497	
事業概要	<p><b>【提案の目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア病棟において病床数が足りないという深刻な現状を見直し、緩和ケア病棟に限りベッド規制の枠外に設定し、病院の総ベッド数にかかわることなく緩和ケア病床を増やすことができることを目的とする。</li> </ul> <p><b>【事業概要】</b></p> <p>緩和ケア病棟を開設または増設する際には、総ベッド数規制の枠外とする。</p> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア治療を受けたいと思う患者さんが、いつでもすぐにでも受けられるようになる。</li> <li>・緩和ケア病棟またはそれに準じた病棟が普及する。</li> </ul>	
	目標	
	事業費	

## 第2回沖縄県がん診療連携協議会 提案事項2 &lt;緩和ケア部会&gt;

事業名	『沖縄県の公式 HP 上での緩和ケアに関する情報提供』	
提案者名	沖縄県がん診療連携協議会 緩和ケア部会	
連絡先	琉球大学医学部附属病院がんセンター T E L : 098-895-1369 F A X : 098-895-1497	
事業概要	<p><b>【提案の目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「緩和ケア」に関する正しい情報をいつでもどこにいても入手できるようにすることを目的とする。</li> </ul> <p><b>【事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の公式ホームページのトップページに「がん医療」のページを作成し、そこから県が提供する「がん医療」や県内の「緩和ケア医療」に関する情報を入手することができるようにする。</li> </ul> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアに関する正しい情報を提供するとともに、緩和ケアの重要性を伝えることができる。</li> <li>・緩和ケアを受けたいと思った時に、緩和ケア治療を行っている病院を知ることができる。</li> </ul>	
	目標	
	事業費	

## 緩和ケア部会

### < 委員 >

患者：	未定
患者の家族：	未定
患者の遺族：	未定
有識者：	未定
訪問看護ステーション関係者：	宮城春代（沖縄県看護協会）（依頼中）
薬剤師：	伊藤昌徳（かりゆし会ハートライフ病院）
看護師：	棚原陽子（琉大病院緩和ケア認定看護師）
在宅医療：	喜納 美津男（きなクリニック院長）
沖縄県：	古謝 隆（福祉保健部医務・国保課医療対策班長）
ホスピス病棟担当医師：	栗山 登至（アドベンチストメディカルセンターホスピス医長）
身体的緩和ケア専門家：	笹良 剛史（友愛会南部病院緩和医療科）（緩和医療学会評議員）
精神的緩和ケア専門家：	宮川 真一（県立南部医療センターこども医療センター精神科部長）
北部地区医師会病院：	友利 健彦（外科部長）
沖縄県立中部病院；	上田 真（外科副部長）
那覇市立病院：	足立 源樹（放射線科医長）
琉球大学医学部附属病院：	中村 清哉（麻酔科講師）
同上：	増田 昌人（がんセンター長）

### < 目的および方向性 >

- 1．緩和ケア研修会の企画、実施
- 2．ホスピス病棟を持つ病院との連携
- 3．緩和ケア病棟または緩和ケア病棟に準じた病棟普及
- 4．がん診療を行っているすべての病院に緩和ケアチームを作る
- 5．在宅医療との提携
- 6．緩和ケア外来の普及
- 7．緩和ケア専門医を育てる
- 8．拠点病院緩和ケアチームと在宅医療を行う診療所（開業医）との合同カンファランスの定期開催
- 9．2次医療圏（地域）ごとに緩和ケア協議会を設置する
- 10．地域住民ボランティア育成

## <今年度の事業計画>

### 1 今年度中に緩和ケア研修会を4回開催する。

沖縄県内の主要緩和ケアチームのチーフ及びホスピス病棟を持つ病院の医師が全員参加し、沖縄県として同一プログラムで、どの病院が主催しても質を落とさないように行う。沖縄県医師会、各地区医師会の協力を頂き、在宅医療を行う診療所（開業医）医師の積極的な参加を呼び掛ける。

本年度も含め4年以内に宮古医療圏内（宮古島市）及び八重山医療圏内（石垣市）でそれぞれ1回ずつ研修会を行う。

第1回 日程：平成20年10月25（土）26日（日）

主催：琉球大学医学部附属病院

場所：琉球大学医学部がじゅまる会館

主催責任者：須加原 一博（同病院長）

企画責任者：笹良 剛史（友愛会南部病院緩和医療科）

比嘉 達也（琉球大学医学部附属病院麻酔科助教）

第2回 日程：平成20年12月20日（土）21日（日）

主催：那覇市立病院

場所：那覇市立病院3階講堂

主催責任者：與儀 實津夫（同病院理事長）

企画者：笹良 剛史（友愛会南部病院緩和医療科）

第3回 日程：平成21年1月31日（土）・2月1日（日）

主催：県立中部病院

場所：県立中部病院2階会議室

主催責任者：平安山 英盛（同病院長）

企画者責任者：上田真（沖縄県立中部病院外科副部長）

第4回 日程：平成21年3月7日（土）・8日（日） 予定

主催：北部地区医師会病院

場所：未定

主催責任者；主催する拠点病院長（予定）

企画者；未定

各都道府県知事 殿

厚生労働省健康局長

がん診療連携拠点病院の整備について  
以下省略

がん診療連携拠点病院の整備に関する指針

- I がん診療連携拠点病院の指定について  
(省略)
- II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

1 診療体制

(1) 診療機能

- [1] 集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供  
(省略)
- [2] 化学療法の提供体制  
(省略)
- [3] 緩和ケアの提供体制

ア (2)の[1]のウに規定する医師及び(2)の[2]のウに規定する看護師等を構成員とする緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供すること。  
イ 外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備すること。  
ウ アに規定する緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスを週1回程度開催すること。  
エ 院内の見やすい場所にアに規定する緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行うこと。  
オ かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師がアに規定する緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行うこと。  
カ 緩和ケアに関する要請及び相談に関する受付窓口を設けるなど、地域の医療機関及び在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備すること。

- [4] 病病連携・病診連携の協力体制  
(省略)
- [5] セカンドオピニオンの提示体制  
(省略)

(2) 診療従事者

(省略)

(3) 医療施設

(省略)

2 研修の実施体制

- (1) 原則として、別途定める「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を毎年定期的実施すること。
- (2) (1)のほか、原則として、当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断及び緩和ケア等に関する研修を実施すること。なお、当該研修については、実地での研修を行うなど、その内容を工夫するように努めること。
- (3) 診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同のカンファレンスを毎年定期的開催すること。

IV 都道府県がん診療連携拠点病院の指定要件について

- 4 都道府県がん診療連携協議会を設置し、当該協議会は、次に掲げる事項を行うこと。

(6) IIの2の(1)に基づき当該都道府県におけるがん診療連携拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修その他各種研修に関する計画を作成すること。

V 既指定病院の取扱い、指定・指定の更新の推薦手続等、指針の見直し及び施行期日について

(省略)

沖縄県がん診療連携協議会 緩和ケア部会事前打ち合わせ

日 時 : 平成20年 9月16日(火) 18:00~

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階 小会議室

打ち合わせ内容

1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶
2. 各委員自己紹介
3. がん対策基本法について
4. がん対策推進基本計画について
5. 沖縄県がん診療連携拠点病院について
6. がん診療連携拠点病院の整備に関する指針の読み合せ
7. 部会の目的・やるべき仕事の検討  
部会の委員にはどういう人が必要か。
8. メーリングリストの作成(連絡先記入用紙配布)
9. 次回の開催日程
10. その他



## 沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア部会事前打ち合わせメモ

[日時] 平成20年 9月16日(火) 18:00~

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階 小会議室

[部会委員] 6名

[参加者] 4名: 上田真(県立中部病院) 比嘉達也(代理:琉大病院麻酔科中村清哉) 笹良剛史(南部病院)  
増田昌人(琉大病院がんセンター)

[欠席者] 2名: 友利健彦(北部地区医師会病院) 足立源樹(那覇市立病院)

[陪席者] 1名: 桃原ひかる(琉大病院がんセンター)

[協議内容]

### 1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶

協議内容に先立って、琉大病院がんセンター長増田より挨拶があった。

### 2. 各委員自己紹介

各委員がそれぞれ自己紹介を行った。

### 3. がん対策基本法について

琉大病院がんセンター長増田より、がん対策基本法についての説明があり、がん対策を総合的かつ計画的に推進していくために、県・各拠点病院が連携していくことを確認した。

### 4. がん対策推進基本計画について

引き続き、増田よりがん対策推進基本計画について説明があり、重点的に取り組むべき事項を委員全員で確認した。

### 5. 沖縄県がん診療連携拠点病院について

琉大病院がんセンター長増田より資料に基づき沖縄県がん診療連携拠点病院についての説明があり、関係機関との連携を強化し、相互に支援していくことが全会一致で承認された。

### 6. がん診療連携拠点病院の整備に関する指針(第0301001号厚生労働省健康局長通知)の読み合せ

委員全員で指針の読み合わせを行い、部会の役割を確認した。

### 7. 部会の目的・やるべき仕事の検討

6つの目的の他に「緩和ケア専門医を育てる」を加えること、また上記の部会委員以外に緩和ケアに関して積極的に活動されている宮川真一先生(南部医療センター・こども医療センター) ホスピス病棟をもつ病院の医師として栗山登至先生(アドベンチストメディカルセンター) 在宅医療を行っている診療所の医師として喜納美津男先生(きなクリニック)を加えることが全会一致で承認された。また、委員より講演会や勉強会等を行う際に製薬会社に共催をお願いしてはどうかという提案があり、それが可能なのか厚労省へ問い合わせ、可能であれば今後検討していく旨の説明があった。

### 8. メーリングリストの作成

連絡先登録用紙を配布して、メーリングリストを作成することが承認された。

### 9. 部会の委員にはどういう人が必要か

部会の委員として、患者を入れてはどうかという提案があり、今後部会の中で人選していくことが承認された。

### 10. 次回の開催日程

月1回の部会開催を目指し、次回より事務係とスケジュール調整し日程を確定していくことが承認された。

### 11. その他

資料があれば事前に送付し、部会ですぐに話し合いが始められるようにすることが承認された。

沖縄県がん診療連携協議会 第1回緩和ケア部会

日時：平成20年10月17日(金) 17:00～18:30

場所：琉球大学医学部附属病院 管理棟3F 大会議室

協議内容

1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶
2. 各委員自己紹介
3. 委嘱状授与
4. 緩和ケア部会事前打ち合わせメモについて
5. 部会の目的・やるべき仕事の再検討
6. 部会の人選について
7. メーリングリストの作成(連絡先記入用紙配布)
8. 次回の開催日程
9. 『第1回沖縄県緩和ケア研修会2008』について
10. その他

## 沖縄県がん診療連携協議会 第1回緩和ケア部会議事要旨

[日時] 平成20年10月17日(金)

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟3階・大会議室

[参加者] 7名:喜納美津男(きなクリニック)、笹良剛史(南部病院)、宮川真一(県立南部医療センターこども医療センター)、神里長次郎(代理:沖縄県医務国保課)、上田真(県立中部病院)、中村清哉(琉大病院)、増田昌人(琉大病院)

[欠席者] 3名:栗山登至(アドベンチストメディカルセンター)、友利健彦(北部地区医師会病院)、足立源樹(那覇市立病院)

[陪席者] 14名:幸地崇(琉大病院総務課)、桃原ひかる(琉大病院がんセンター)、棚原陽子(琉大病院看護師)、西みゆき(琉大病院看護師)、國仲時子(琉大病院看護師)、金城恵(赤十字病院看護師)、仲村美和子(北部地区医師会病院MSW)、樋口美智子(那覇市立病院MSW)、田畑優美(豊見城中央病院臨床心理士)、比嘉達也(琉大病院麻酔科)、薬師崇(琉大病院精神科)、伊藤昌徳(ハートライフ病院薬剤師)、伊志嶺朝成(浦添総合病院消化器外科)、親富祖勝己(県立中部病院精神科)

### [協議内容]

#### 1. 琉球大学医学部附属病院がんセンター長挨拶

増田がんセンター長より、協議に先立ち、がんセンター発足からこれまでの経緯の説明があった。

#### 2. 各部会委員の自己紹介

各部会委員より自己紹介があった。

#### 3. 委嘱状の授与

増田がんセンター長より、緩和ケア部会委員に対し委嘱状の交付を行った。

#### 4. 緩和ケア部会事前打ち合わせメモについて(本資料6-4)

増田がんセンター長より、資料1に基づき平成20年9月16日に行われた沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会事前打ち合わせで話し合われた内容について説明があった。

#### 5. 部会の目的・やるべき仕事の再検討について(本資料6-1)

増田がんセンター長より、資料2に基づき平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会で承認された緩和ケア部会の目的と方向性について説明があり、10項目にわたる目的を4年かけて一つずつ達成していくことが全会一致で承認された。

#### 6. 部会の人選について

増田がんセンター長より、平成20年度第1回沖縄県がん診療連携協議会の中で、患者・患者家族または遺族、有識者、訪問看護ステーション関係者、看護師、薬剤師を部会委員に加えることが承認されたとの報告があり、それらの人選についてはこれから部会の中で話し合っていくことが再度承認された。また、増田がんセンター長より、沖縄には患者の会等が少ないため人選に時間がかかる恐れがあり委員として参加して欲しい方がいれば推薦して欲しいとの依頼があった。

#### 7. メーリングリストの作成について

増田がんセンター長より、連絡先としてメールアドレスと部会参加不可能な曜日の提出依頼があった。また、提出されたメールアドレスを基にメーリングリストを作成し、情報の提供はメールを通じて行うことが再度承認された。

#### 8. 次回の開催日程について

増田がんセンター長より、月1回の部会は委員の人数が多いことから、ある程度日時を決め（例えば、第3月曜の午後3時等）開催した方がいいのではとの提案があり、全会一致で承認された。開催日については、提出された「部会参加不可能な曜日」を基に決定することが承認された。

#### 9. 「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」について（資料4）

増田がんセンター長より、第1回緩和ケア研修会について話し合いを行うため「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」の協力者を陪席に招いているとの説明があり、協力者がそれぞれ自己紹介を行った。研修会企画責任者の笹良委員より研修会の進め方について説明があり、資料4を基に研修会の事前最終確認を行った。

#### 10. その他

緩和ケア研修会は5年間で20回開催することとなっているが、早い時期に宮古・八重山で開催することを目指し、それに係る費用の捻出については、協議会で工面するのか、学会に援助してもらうか、あるいはその他の組織に援助してもらうか、来月以降の部会の中で詰めていくことが承認された。

沖縄県がん診療連携協議会 第2回緩和ケア部会

日 時 : 平成20年12月2日(火) 18:30~19:30

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 管理棟2F小会議室

報告事項:

1. 平成20年度第1回緩和ケア部会議事要旨について
2. 「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」報告 (参考資料参照)
3. 「第2回沖縄県緩和ケア研修会2008」進捗状況について(参考資料参照)

協議事項:

1. 委嘱状授与
2. 緩和ケア部会委員について
3. 緩和ケア部会長選出
4. 緩和ケア研修会の広報活動について  
沖縄県への働きかけ  
県医師会への働きかけ  
その他への働きかけ
5. 幹事会への要望書作成について
6. 緩和ケア部会開催日について
7. その他

第1回沖縄県緩和ケア研修会2008 報告書

作成：琉球大学医学部附属病院がんセンター

開催日時	： 平成20年10月25(土)・26(日)
主催	： 琉球大学医学部附属病院
協力者	： 31名(講師6名、ファシリテーター25名)
受講予定者	： 38名
受講修了者	： 27名

1. プレテストの結果(回答者41名)

解答率 ベスト1・・・麻薬使用に関する ×問題(正解率100%)  
 ・・・オピオイドの使用に関する ×問題(正解率100%)

別紙1参照

解答率 ワorst1・・・住宅ホスピス・緩和ケアの実施に当たっての必要条件(正解率44%)  
 ワorst2・・・呼吸困難のマネジメントにおける評価の指標(正解率46.3%)

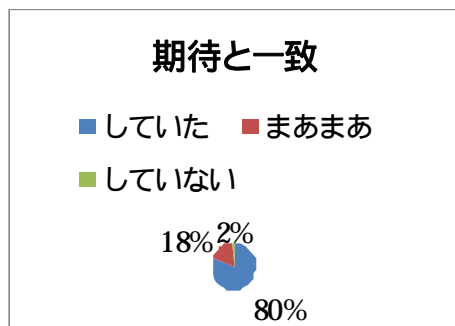
別紙1参照

2. 総合評価アンケート(回答者40名)

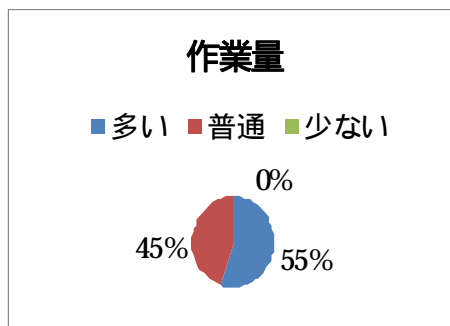
ワークショップにおける各項目についての理解度

	十分理解できた	普通	あまり理解できなかった	無回答
1. 緩和ケア概論	68%	20%	0%	12%
2. がん性疼痛	73%	15%	2%	10%
3. がん性疼痛事例検討	68%	15%	2%	15%
4. オピオイドを開始するとき	68%	15%	2%	15%
5. 呼吸困難	65%	23%	0%	12%
6. 消化器症状	68%	25%	0%	7%
7. 精神症状	60%	33%	2%	5%
8. コミュニケーション	63%	25%	2%	7%
9. 地域連携と治療・ 療養の場の選択	53%	37%	5%	5%

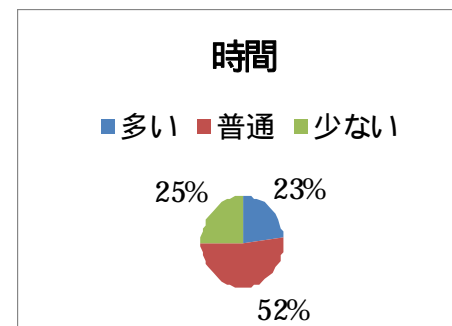
1) 自分が期待していたものと一致していたか。



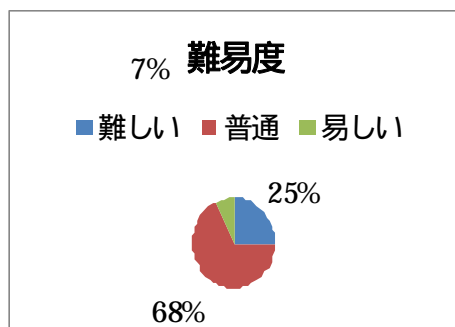
2) 作業量としてはどうか。



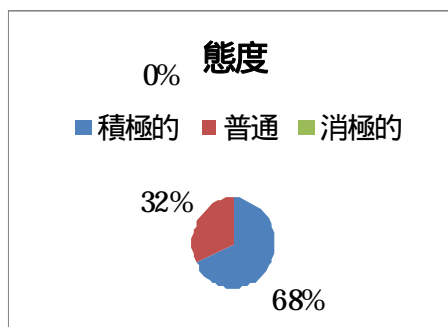
3) 作業量に比べて時間はどうか。



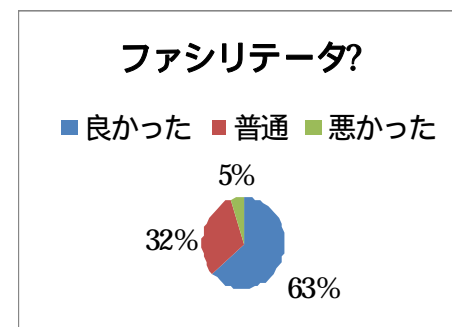
4) 難易度はどうか。



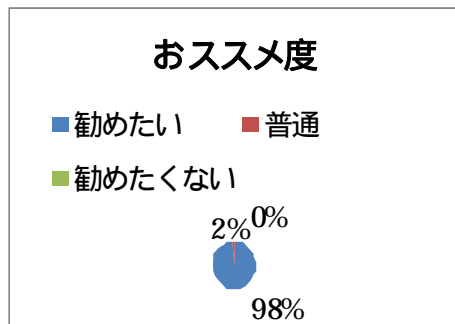
5) 積極的に参加できたか。



6) ファシリテータの仕事ぶりはどうだったか。



7) 今後、他の指導医にも講習会への参加を勧めたいか。



## 総合評価アンケート（回答者40名）：改善点

### 研修会の内容について：

- ・緩和ケアの意味（広義・狭義）を両方説明した方がよいと思います。
- ・STASをとばしていましたが、生活者としてのPtを見ていく必要性を指導することも必要だと思います。
- ・その他の症状をやって欲しい。疼痛緩和は簡単すぎる。
- ・地域連携のやり取りはもっと時間をとってディスカッションできるスケジュールを組むといいと思う。
- ・ロールプレイの工夫  
患者役の内容（困った患者を演じるようにして欲しい）  
ロールプレイ中の時間確認（静かに伝えられる方法を検討して欲しい）
- ・コミュニケーションのロールプレイの際、医師役・患者役の情報が与えすぎたため、その与えられた情報にとらわれてしまって各役割を実感することがあまり（十分）できなかった。
- ・レクチャーをもう少し増やして欲しい。
- ・スライドの内容に少し修正した方がよいと思うものがあつた。

### 会場・進行について：

- ・ファシリテータの役割をもっと明確に知らせ、事前学習をしてもらった方がよいと思います。
- ・十分な広さをもった会場が望ましい。（隣のグループと近くて雑音が入りグループでの話し合いが聞きづらかつた）
- ・コミュニケーションスキルのロールプレイのタイムキーパーは全体のタイムキーパーではなく、各グループのファシリテータが行つた方がよかつた。
- ・小Gから中Gへ移る時、どこのグループのファシリテータが中Gをみるか不明だつた。
- ・ストップウォッチの数
- ・会場の設備（空調、パソコン等）
- ・資料の中で黒くて見えない部分があつたので、その部分のスライド呈示を長くして欲しい。
- ・スクリーンが小さかつたので大きくできないか。
- ・開始時間（というか準備のための集合時間）- 個人的だと思いますが名護から1h以上かかるので辛いです。

### その他要望：

- ・周辺のホスピスや介護ステーション等リリースの現状や行政の対応の現状等についても一定の情報が欲しい。
- ・土日2日間参加できる方は民間病院、開業医では少ないと思います。連休の開催とするか、日曜日×2回とした方が参加できる方が多いのではないかと思います。
- ・地域連携をどうしたら良いかは難しいと思いますが、その他の県・地域の事例紹介などがあると良かったと思います。
- ・参加者を増やすための啓蒙。
- ・コミュニケーションロールで症例の設定に時間がかかるので予め決められている方が時間の節約になるが、症例の設定そのものを決めることも重要と考えているならOK。
- ・2日間の講習を分けて1日目と2日目を別の講習で受けても修了証書がもらえるようにしたら良いと思います。



**ベスト1（正解率 100%）の問題：**

問 以下のうち、誤っているものを一つ選べ。

- A. がん性疼痛のある患者に医療用麻薬を適切に使用した場合には、中毒になる頻度は500人に1人以下である
- B. 麻薬を適切に使用した場合、混乱や幻覚を来たすのは、5%以下とまれである
- C. 麻薬の使用量と予後には相関がない
- D. 治癒が期待できるがん患者の疼痛には原則として麻薬を使用しない
- E. 麻薬は、疼痛が改善した場合、安全に中止することができる

解答：D

**ベスト1（正解率 100%）の問題：**

問 以下のうち、誤っているものを一つ選べ。

- B. オピオイドを使用するほとんどの人に、便秘がみられる
- C. オピオイドを服薬して1-2週間は吐き気がみられることがあるが、その後、多くの場合消失する
- D. オピオイドを服用して2-3日間は強い眠気を生じることがあるが、その後、多くの場合軽快・消失する
- E. オピオイド使用中の患者が制吐薬の使用にもかかわらず嘔気を訴える場合は、ただちにオピオイドを中止する
- F. 副作用予防のために投与された制吐薬はアカシジアをきたすことがあるため、嘔気・嘔吐がなければ中止を考慮する

解答：D

**ワースト1の問題：**

問 在宅ホスピス・緩和ケアの実施に当たって必要な条件について適切な組み合わせはどれか。

- (1) 患者と家族が在宅療養を希望している
- (2) 患者・家族が最期まで自宅で過ごすことを決定している
- (3) 医療者と24時間365日連絡がとれ、必要な対応が提供される
- (4) 緊急時の入院施設が確保されている

A. (1)(2) B. (2)(3) C. (1)(3)(4) D. (4)のみ E. (1) ~

(4)のすべて

解答：C

**ワースト2の問題：**

問 呼吸困難のマネジメントにおいて、呼吸困難の評価で最も適切な指標となるのは次のうちどれか。適切な組み合わせを選べ。

- (1) 呼吸困難が生活に与える影響
- (2) 呼吸困難時の呼吸回数
- (3) 呼吸困難時の酸素飽和度
- (4) 呼吸困難時の心拍数
- (5) NRS (Numeric Rating Scale)による主観的評価

A. (1)(2) B. (2)(3) C. (3)(4) D. (4)(5) E. (1)(5)

解答：E

## 沖縄県がん診療連携協議会 第2回緩和ケア部会議事要旨

[日時] 平成20年12月2日(火) 18:30~19:30

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者] 12名: 神里長次郎(代理: 沖縄県医務・国保課)、喜納美津男(きなクリニック)、  
栗山登至(アドベンチストメディカルセンター)、宮川真一(県立南部医療センター・こども医療センター)、  
笹良剛史(南部病院)、友利健彦(北部地区医師会病院)、上田真(県立中部病院)、足立源樹(那覇市立病院)、  
中村清哉(琉大病院)、増田昌人(琉大病院)

[欠席者] なし

[陪席者] 2名: 幸地崇(琉大病院総務課)、桃原ひかる(琉大病院がんセンター)

### [報告事項]

1. 平成20年度第1回緩和ケア部会議事要旨について(本資料6-6)  
増田がんセンター長より、資料1に基づき平成20年10月17日に行われた沖縄県がん診療連携協議会第1回緩和ケア部会で話し合われた内容について説明があり、全会一致で承認された。
2. 「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」報告について(本資料6-8-1)  
増田がんセンター長より、資料2に基づき平成20年10月25・26日に行われた「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」について報告があった。研修会終了後のアンケートを基に研修会の改善点について話し合わせ、1, 医師以外のコメディカルの方にも主催責任者名で終了証書を交付すること、2, 研修会ファシリテータに対して事前に説明会を行い指導の仕方を共有すること、3, 県内施設のパンフレット等を配布し情報提供を行うこと、4, 年4回開催する研修会のうち、1回は2週にわたって日曜日開催を行うこと、また1回は月曜日祝日の日に合わせ日・月で開催することが全会一致で承認された。
3. 「第2回沖縄県緩和ケア研修会2008」進捗状況について  
増田がんセンター長より、「第2回沖縄県緩和ケア研修会2008」の進捗状況について報告があり、第1回の反省を基に改善していくことが承認された。

### [協議事項]

1. 委嘱状授与  
増田がんセンター長より、沖縄県福祉保健部医務・国保課医療対策班長古謝隆委員に委嘱状が交付され代理として神里氏が受領した。
2. 緩和ケア部会委員について(本資料6-1)  
増田がんセンター長より、資料3に基づき沖縄県福祉保健部医務・国保課医療対策班長古謝隆委員が部会メンバーに加わったとの報告があり、全会一致で承認された。未定の部会委員については訪問看護ステーション関係を代表して県看護協会の宮城春代氏、薬剤師を代表してハートライフ病院の伊藤昌徳氏、看護師を代表して琉大病院緩和ケア認定看護師の棚原陽子氏をどうかという提案があり全会一致で承認された。また、その他に医療ソーシャルワーカー、臨床心理士を加えることが承認され、人選についてはこれから行うことが全会一致で承認された。さらに患者、患者の家族または遺族、有識者についても推薦者がいれば報告して欲しいと増田がんセンター長より再度依頼があった。
3. 緩和ケア部会長選出について  
緩和ケア部会長の選出が行われ、部会長に笹良剛史委員(南部病院)、副部会長に栗山登至委員(アドベンチストメディカルセンター)が推薦され、全会一致で承認された。

4 . 緩和ケア研修会の広報活動について

増田がんセンター長より「第1回沖縄県緩和ケア研修会2008」では研修会の広報活動が不十分だったとの報告があり、これからは沖縄県に公式HP上での情報提供を依頼し、また県医師会に対しても広報活動のバックアップをお願いすることが提案され、全会一致で承認された。さらに笹良委員より、「県医師会医学会総会シンポジウム」の場で緩和ケア研修会の説明を行う時間をもらったとの報告があり、全会一致で承認された。

5 . 幹事会への要望書作成について

幹事会・協議会へ上げる要望について協議され、1. 緩和ケア病棟を増設する際には総ベッド数規制の枠外とする 2. 沖縄県の公式HP上で県内の緩和ケア情報が入手できるようにする、の以上2点を要望することが全会一致で承認された。

6 . 緩和ケア部会開催日について

前回の部会で配布・収集された用紙「部会参加不可能な曜日」を基に、毎月第1週の火曜日18時から緩和ケア部会を開催することが、全会一致で承認された。